

Contents

1	Classes	2
1.1	rational – 整数と有理数	2
1.1.1	Integer – 整数	3
1.1.1.1	getRing – ring オブジェクトを所得	4
1.1.1.2	actAdditive – 2 進の加法連鎖の加法	4
1.1.1.3	actMultiplicative – 2 進の加法連鎖の乗法	4
1.1.2	IntegerRing – 整数環	5
1.1.2.1	createElement – Integer オブジェクトを作成	6
1.1.2.2	gcd – 最大公約数	6
1.1.2.3	extgcd – 拡張 GCD	6
1.1.2.4	lcm – 最小公倍数	6
1.1.2.5	getQuotientField – 有理数体オブジェクトを所得	6
1.1.2.6	issubring – 部分環か判定	6
1.1.2.7	issuperring – スーパー環か判定	7
1.1.3	Rational – 有理数	8
1.1.3.1	getRing – ring オブジェクトを所得	9
1.1.3.2	decimalString – 小数を表す	9
1.1.3.3	expand – 連分数表現	9
1.1.4	RationalField – 有理数体	10
1.1.4.1	createElement – Rational オブジェクトを返す	11
1.1.4.2	classNumber – 類数を所得	11
1.1.4.3	getQuotientField – 有理数体オブジェクトを返す	11
1.1.4.4	issubring – 部分環か判定	11
1.1.4.5	issuperring – スーパー環か判定	11

Chapter 1

Classes

1.1 rational – 整数と有理数

rational モジュールはクラス Rational, Integer, RationalField, そして IntegerRing として整数と有理数を提供する.

- Classes
 - **Integer**
 - **IntegerRing**
 - **Rational**
 - **RationalField**

このモジュールはまた以下のコンテンツを提供する:

theIntegerRing :

theIntegerRing は有理整数環を表す. An instance of **IntegerRing**.

theRationalField :

theRationalField は有理整数体を表す. **RationalField** のインスタンスです.

1.1.1 Integer – 整数

Integer は整数のクラス. 'int' と 'long' は除算において有理数を返さないで, 新しいクラスを作成する必要があった.

このクラスは **CommutativeRingElement** と long のサブクラスです.

Initialize (Constructor)

Integer(integer: *integer*) → *Integer*

Integer オブジェクトを構成する. もし独立変数が省略されたら, 値は 0 となる.

Methods

1.1.1.1 `getRing` – ring オブジェクトを所得

`getRing(self) → IntegerRing`

`IntegerRing` オブジェクトを返す.

1.1.1.2 `actAdditive` – 2 進の加法連鎖の加法

`actAdditive(self, other: integer) → Integer`

他の加法に作用する, すなわち, `n` は `other` の `n` 回の加算に拡大される. 素朴に, それは:

```
return sum([+other for _ in range(self)])
```

しかし, ここで 2 進の加法連鎖を使う.

1.1.1.3 `actMultiplicative` – 2 進の加法連鎖の乗法

`actMultiplicative(self, other: integer) → Integer`

他の乗法に作用する, すなわち, `n` は `other` の `n` 回の乗算に拡大される. 素族に, それは:

```
return reduce(lambda x,y: x*y, [+other for _ in range(self)])
```

しかし, ここで 2 進の加法連鎖を使う.

1.1.2 IntegerRing – 整数環

有理整数の環のためのクラスです.

このクラスは **CommutativeRing** のサブクラスです.

Initialize (Constructor)

`IntegerRing()` \rightarrow *IntegerRing*

`IntegerRing` のインスタンスを作成する. すでに `theIntegerRing` があるので, あなたはインスタンスを作成したくないだろう.

Attributes

zero :
加法の単位元 0 を表す. (読み専用)

one :
乗法の単位元 1 を表す. (読み専用)

Operations

operator	explanation
<code>x in Z</code>	要素がどうか返す.
<code>repr(Z)</code>	文字列表現を返す.
<code>str(Z)</code>	文字列を返す.

Methods

1.1.2.1 createElement – Integer オブジェクトを作成

`createElement(self, seed: integer) → Integer`

seed を持つ Integer オブジェクトを作成する.

seed は int 型, long 型 または rational.Integer でなければならない.

1.1.2.2 gcd – 最大公約数

`gcd(self, n: integer, m: integer) → Integer`

与えられた 2 つの整数の最大公約数を返す.

1.1.2.3 extgcd – 拡張 GCD

`extgcd(self, n: integer, m: integer) → Integer`

タプル (u, v, d) を返す; これらは与えられた 2 つの整数 n と m の最大公約数 d と, $d = nu + mv$ となる u, v です.

1.1.2.4 lcm – 最小公倍数

`lcm(self, n: integer, m: integer) → Integer`

与えられた 2 つの整数の最小公倍数を返す. もし両方とも 0 なら, エラーが起こる.

1.1.2.5 getQuotientField – 有理数体オブジェクトを所得

`getQuotientField(self) → RationalField`

有理数体 (**RationalField**) を返す.

1.1.2.6 issubring – 部分環か判定

`issubring(self, other: Ring) → bool`

もう一方の環が部分環として整数環を含んでいるか報告する.

もし `other` もまた整数環なら, 出力は `True`. その他の場合もう一方の整数環の `issuperring` メソッドにおける実装に依存する.

1.1.2.7 `issuperring` – スーパー環か判定

`issuperring(self, other: Ring) → bool`

もう一方の環が部分環として整数環を含んでいるか報告する.

もし `other` もまた整数環なら, 出力は `True`. その他の場合もう一方の整数環の `issubring` メソッドにおける実装に依存する.

1.1.3 Rational – 有理数

有理数のクラスです.

Initialize (Constructor)

```
Rational(numerator: numbers, denominator: numbers=1)  
→ Integer
```

有理数は以下から構成:

- integers,
- float, or
- Rational.

もし toRational メソッドがあれば, 他のオブジェクトは変換され得る. さもなくば TypeError が起こる.

Methods

1.1.3.1 getRing – ring オブジェクトを所得

`getRing(self) → RationalField`

RationalField オブジェクトを返す.

1.1.3.2 decimalString – 小数を表す

`decimalString(self, N: integer) → string`

小数第 N 番目の数の文字列を返す.

1.1.3.3 expand – 連分数表現

`expand(self, base: integer, limit: integer) → string`

分母が `base` の累乗で, もし `base` が自然数なら多くても `limit` である最も近い有理数を返す.

さもなくば, すなわち, `base=0`, 分母が多くても `limit` である最も近い有理数を返す.

`base` は負の整数であってはならない.

1.1.4 RationalField – 有理数体

RationalField は有理数体のクラスです。このクラスは **theRationalField** という唯一のインスタンスを持つ。

このクラスは **QuotientField** のサブクラスです。

Initialize (Constructor)

RationalField() \rightarrow *RationalField*

RationalField のインスタンスを作成する。すでに theRationalField があるので、インスタンスを作りたくはないだろう。

Attributes

zero :

加法の単位元 0 を表す, すなわち Rational(0, 1). (読み専用)

one :

乗法の単位元 1 を表す, すなわち Rational(1, 1). (読み専用)

Operations

operator	explanation
<code>x in Q</code>	要素かどうか返す.
<code>str(Q)</code>	文字列を返す.

Methods

1.1.4.1 createElement – Rational オブジェクトを返す

```
createElement(self, numerator: integer or Rational, denominator: integer=1)  
    → Rational
```

Rational オブジェクトを作成する.

1.1.4.2 classNumber – 類数を所得

```
classNumber(self) → integer
```

有理数体の類数は 1 なので, 1 を返す.

1.1.4.3 getQuotientField – 有理数体オブジェクトを返す

```
getQuotientField(self) → RationalField
```

有理数体自身を返す.

1.1.4.4 issubring – 部分環か判定

```
issubring(self, other: Ring) → bool
```

もう一方の環が部分環として有理数体を含んでいるか報告する.

もし other もまた有理数体なら, 出力は True. 他の場合もう一方の issuperring メソッドにおける実装に依存する.

1.1.4.5 issuperring – スーパー環か判定

```
issuperring(self, other: Ring) → bool
```

もう一方の環が部分環として有理数体を含んでいるか報告する.

もし other もまた有理数体なら, 出力は True. 他の場合もう一方の issubring メソッドにおける実装に依存する.